

kaise

バッテリークリップ変換ケーブル

MODEL 808

取扱説明書

カイセ株式会社

本製品は、KG-106 / 106C ポータブルジャンプスターターおよびKG-150メモリーバックアップのバックアップ電源機能において、バッテリーターミナル接続によるバックアップを行うための変換ケーブルです。

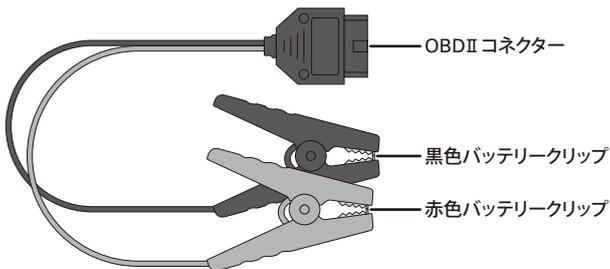
本体 (KG-106 / 106C または KG-150) の取扱説明書をよくお読みいただいたうえでご使用ください。

安全上・使用上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告 / 注意

- 逆接続 (バッテリーの⊕と⊖の極性を逆に接続) や短絡は、絶対にしないように注意してください。けがや故障、発火の原因になります。
- 濡れた状態での使用は避けてください。感電の原因になります。
- 24V 車両のバックアップはできませんので使用しないでください。使用すると故障、発火の原因になります。
- ケーブルを強く引っ張らないでください。断線などの原因になります。
- 弊社 OBD II ケーブル (型式: 802/806) の変換以外の用途に使用しないでください。
- バックアップ中は、バッテリークリップとバッテリーターミナルの接続、および OBD II ケーブルとの接続が外れないようにご注意ください。
- 本体 (KG-106/106C および KG-150) の取扱説明書に記載されている警告 / 注意事項を厳守してください。

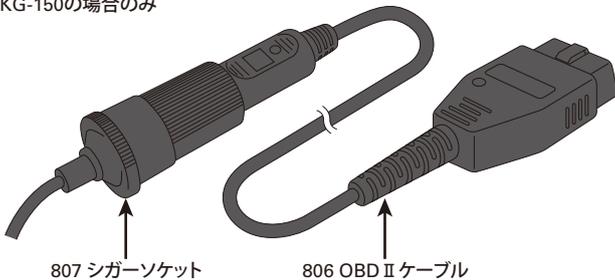
本体・付属品各部の名称と働き



使用方法

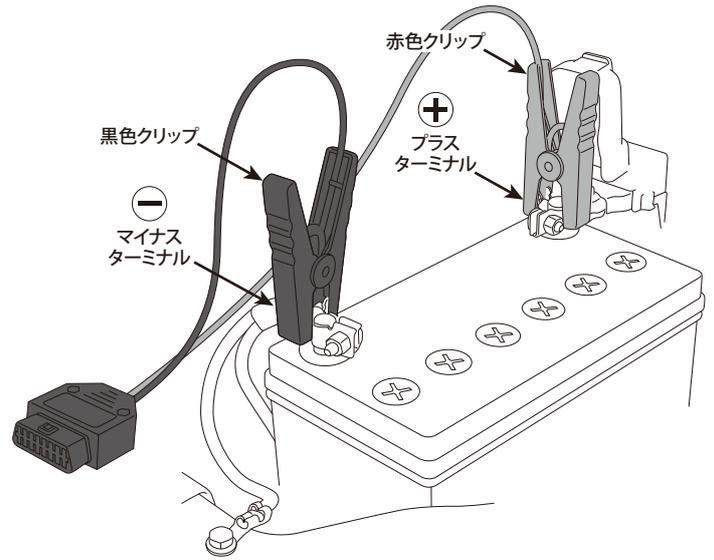
- ① 車両のキーを抜いて、ライト類 (室内灯含む) を全て OFF にします。
- ② あらかじめ車両バッテリーのステーを外し、バッテリーターミナルのボルトをゆるめておきます。
- ③ 電源キーを押して残量インジケータの点灯を確認します。電池残量が少ない場合は本体を充電してください。
- ④ 本体が KG-150 である場合は、806 OBD II ケーブルと 807 シガーソケットを接続します。(KG-106/106C の場合は不要)

■ KG-150 の場合のみ



- ⑤ バッテリーの極性に注意して、本ケーブルの赤色クリップを⊕ターミナル端子に、黒色クリップを⊖ターミナル端子に接続します。外れないようにしっかりとクリップしてください。

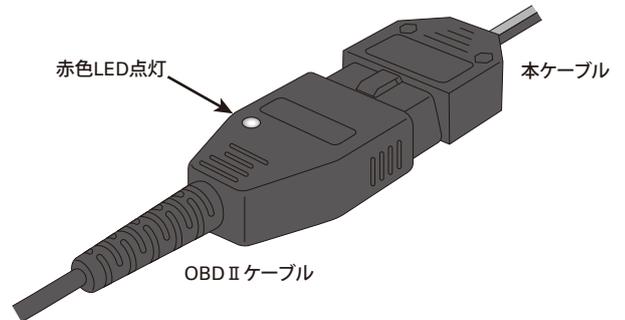
⚠ 警告 ⊕と⊖を逆に接続してしまっているとショート恐れがあります。逆接続でないか再度確認してください。



- ⑥ 本ケーブルと OBD II ケーブルの OBD II コネクター同士を接続します。

⚠ 警告 本体接続側の端子部 (KG-106/106C では OBD II ケーブルのシガープラグ、KG-150 では 807 シガーソケットの DC プラグ) が、車両のボディや金属部に接触しないように注意してください。

- ⑦ OBD II ケーブルのコネクターの赤色 LED が点灯したことを確認します。
※ 点灯しない場合は、車両バッテリーの電圧が著しく低下している、またはターミナル端子の接触不良や逆接続の可能性がります。
※ 接触不良で赤色 LED が点滅している、または点灯しない場合は、各接続を一旦解除して、ワイヤーブラシなどでバッテリーのターミナル端子を清掃してから、再度接続してください。(別売付属品: 690 ワイヤブラシ)
※ 電圧が著しく低下したバッテリーのバックアップは行えません。

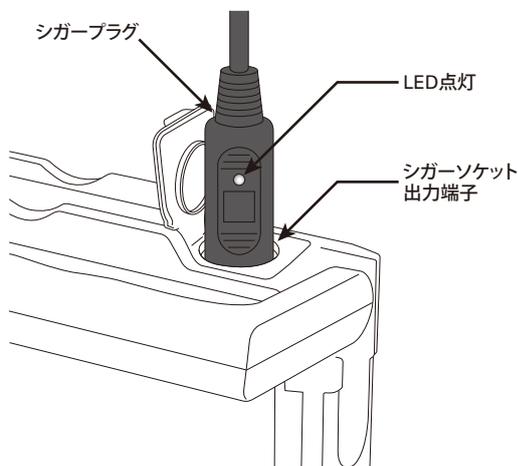


裏面へつづく

- ⑧本体のダストカバーを開いて、ケーブルを接続します。
- ※各接続部が外れないように、安定した場所に置いてください。
- ⑨シガープラグのLEDが点灯したことを確認します。LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
- ※LEDが点灯しない場合は、シガーソケットとOBDⅡケーブルの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。

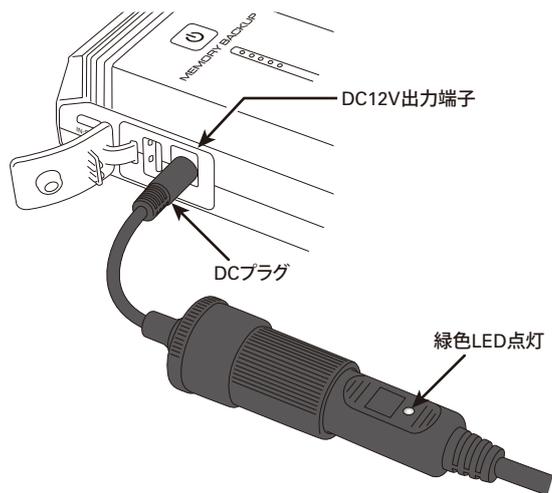
■KG-106 / 106Cの場合

本体のシガーソケット出力端子に OBDⅡ ケーブルのシガープラグを差し込みます。



■KG-150の場合

本体のDC12V出力端子に 807 シガーソケットのDCプラグを差し込みます。

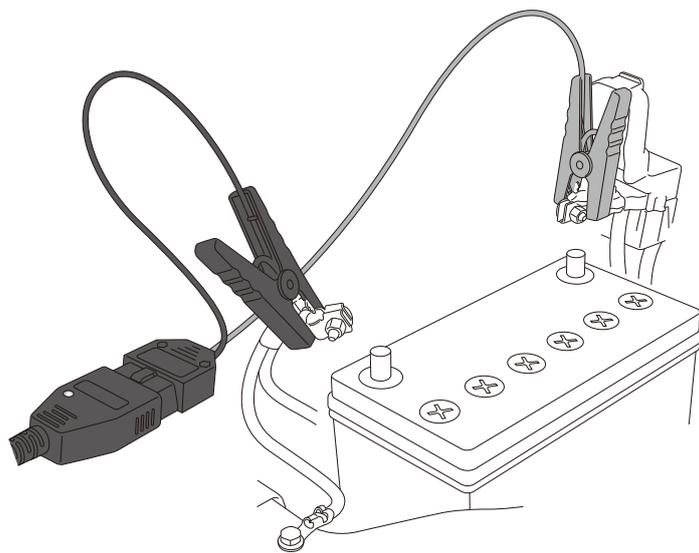


- ⑩バッテリー交換の前(バッテリーターミナルを外す前)に、車両のドアを全て閉めてキーロックを行ってください。
- ※車両のドアを開くと、ドアランプやルームランプが点灯して、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。

- ⑪バッテリー交換を行います。バッテリーターミナルを外す際は、バッテリークリップが外れないようにご注意ください。

警告 バッテリー交換中は、外したバッテリーターミナルが車両のボディや金属部に接触してショートさせないように注意してください。

- ※バックアップ中に車両のドアを開いたり、ブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ※車両バッテリーが過放電している場合、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ※ヒューズ切れの場合は、本体の取扱説明書を参照のうえ、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしないでください。
- ※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。
- ※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。



- ⑫終了しましたら本体の電源をOFF (KG-150のみ) にした後、本体とバッテリーターミナルの接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

■製品の使い方や修理に関するお問い合わせ、修理品の送付先

カイセ株式会社

製造サービス課

〒386-0156 長野県上田市林之郷422

TEL 0268-35-1602 / FAX 0268-35-5515

Email : service@kaise.com

カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422

TEL 0268-35-1600 (代) FAX 0268-35-1603 E-mail service@kaise.com